

右の図は、3月26日のコロナワクチン副反応検討部会の資料をもとに、はたともこさんが纏められたものです。

HPVワクチンとは子宮頸がんワクチンのことです。このワクチンは10代の少女を中心に接種され、わが国では重篤な副反応が3000例以上報告されました。2013年、接種の積極的勧奨が中止になりました。コロナワクチンはそれよりも2倍副反応がおおいのです。

コロナウイルス感染症は多くの場合、軽症です。全国民にワクチンを打ったなら、コロナウイルス感染による健康被害より、ワクチン接種による被害のほうがはるかに多くなる心配があります。ワクチン接種の負荷で、必ず死亡する方が発生いたします。アメリカのワクチン副反応報告システムVAERSには全世界から3186の死亡事例が報告されています。65歳以上が74%を占めていました。

【重篤副反応疑い発生頻度】

- インフルエンザワクチン 2.6件/100万接種
- HPVワクチン「サーバリックス」 213件/100万接種
- HPVワクチン「ガーダシル」 178.5件/100万接種
- コロナワクチン 369.7件/100万回接種

コロナワクチン重篤副反応疑い発生頻度は

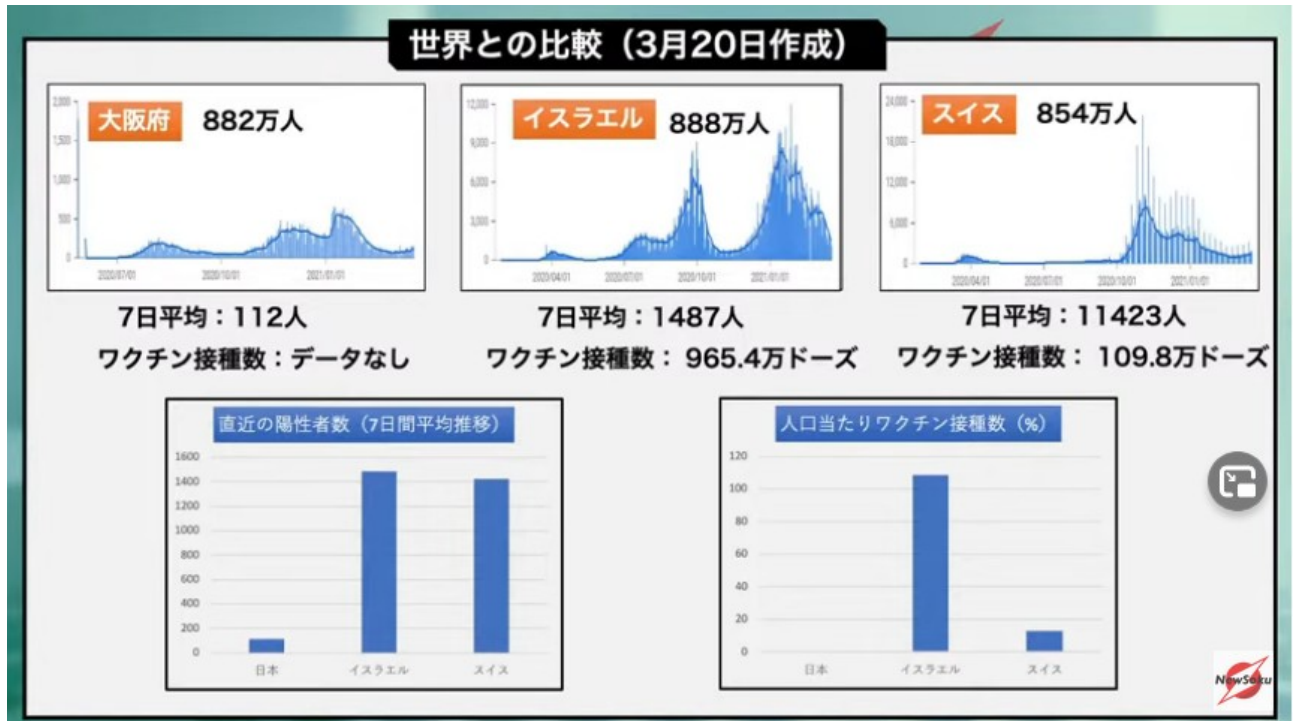
インフルエンザワクチンの**142倍**

HPVワクチンの**1.7~2.1倍**

下の図は、京都大学獣医学部准教授でウイルス研究者の宮沢孝幸先生と武田邦彦さんの対談【武田邦彦×宮沢孝幸】緊急事態宣言解除！言いっ放しのマスコミヤ政治に代わって現状を総括します!!

<https://twitcasting.tv/tweetvjp/movie/679704833> の中頃にあったものです。

人口が約800万人規模の国家と都市で、新型コロナワクチン接種と感染者数を比較したものです。右下の図ですが、イスラエルのワクチン接種率がほぼ100%行われ、2回めの接種に入っていることがわかります。スイスのワクチン接種率は13%位です。左下の図は間違っています。イスラエルの感染者数はスイスの1/8で、ワクチンがよく効いているようにみえます。大阪府の接種率はゼロですが、感染者はイスラエルの1/13です。



はたともこさん

薬剤師。2011~2013年 参議院議員(民主党西岡武夫議員の死去により繰り上げ当選)小沢チルドレンの1人でした。

2013年 子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)定期接種化の議決で、ただ1人、反対の票を投じられました。